

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
【発行日】令和 7 年 5 月 9 日(2025.5.9)

【公開番号】特開 2024-70578(P2024-70578A)  
【公開日】令和 6 年 5 月 23 日(2024.5.23)  
【年通号数】公開公報(特許)2024-094  
【出願番号】特願 2022-181166(P2022-181166)  
【国際特許分類】

G 0 3 F 7/075(2006.01)

10

G 0 3 F 7/004(2006.01)

G 0 2 B 5/20(2006.01)

【F I】

G 0 3 F 7/075 5 1 1

G 0 3 F 7/004 5 0 3 Z

G 0 3 F 7/075 5 2 1

G 0 3 F 7/004 5 0 7

G 0 3 F 7/004 5 1 2

G 0 2 B 5/20

20

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 4 月 28 日(2025.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 7 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 7 8】

一方、(C)成分として量子ドットにアルコキシシラン、アルコキシシラン加水分解物、又はその縮合物を、共重合させていないものである R - 1、R - 2、G - 1、G - 2 を用いた比較例 1 ~ 6、13 ~ 18 では、凝集物が確認されたため、良好な感光性樹脂皮膜を形成できず、リソグラフィー解像性、リソグラフィー工程前後の発光特性、レーザー耐光性試験における発光強度変化率、基材に対する密着性が、本発明の感光性樹脂組成物に比べて悪く、発光素子に適する硬化膜(硬化皮膜)とはならなかった。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 7 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 7 9】

40

また、(C)成分として市販の量子ドットである R - 5、R - 6、G - 5、G - 6 を用いた比較例 7 ~ 12、19 ~ 24 も同様に、凝集物が確認されたため、良好な感光性樹脂皮膜を形成できず、リソグラフィー解像性、リソグラフィー工程前後の発光特性、レーザー耐光性試験における発光強度変化率、基材に対する密着性が、本発明の感光性樹脂組成物に比べて悪く、発光素子に適する硬化膜(硬化皮膜)とはならなかった。

50